

ひとひと  
女と男の情報紙 ビギン

# Begin

2021  
第22号

はじめよう!

特集1 「男女共同参画社会に向けての  
市民意識調査」結果がまとまりました!

特集2 【男女共同参画レポート】  
新型コロナウイルス感染症と男女共同参画



■ 男女共同参画セミナー報告 林家木久蔵氏による「木久蔵流、がんばらない子育て」  
■ 男女共同参画推進センターからのお知らせ

市では、女性と男性が共にかがやき、いきいきと暮らせる「男女共同参画社会」の実現を目指して、様々な取り組みを進めています。

令和2年6月、男女共同参画推進センターでは市民意識調査を行いました。今号では、調査結果の一部をテーマ別にご報告します。

入間市における男女共同参画の「今」を見て、「これから」を考えてみませんか。

【調査概要】

- 1. 調査地域 入間市全域
- 2. 調査対象 入間市在住の18歳以上の男女2,000人
- 3. 回収結果 回答数881人回収率44%
- 4. 抽出方法 住民基本台帳より等間隔無作為抽出法
- 5. 調査方法 郵送による配付・回収
- 6. 調査期間 令和2年6月1日～6月25日

## テーマ1 改善&大きな変化

前回（平成27年度）の調査時から、男女共同参画社会に向けて前進が見られたポイントがこちらです♪

### 男女平等に関する意識

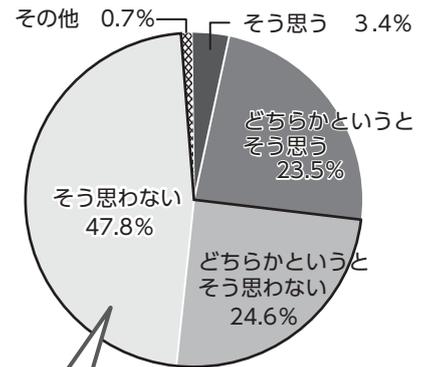
#### ☆「男は仕事、女は家庭」どう思う?

「男は仕事、女は家庭」についてどう思うかの問いに、「そう思う」「どちらかと言えばそう思う」とする肯定派が26.9%、「そう思わない」「どちらかと言えばそう思わない」とする**否定派が72.4%**という結果になりました。前回（平成27年度）の調査時の否定派66.2%より6.2ポイント増え、性別による役割分担意識が薄れてきたことができます。



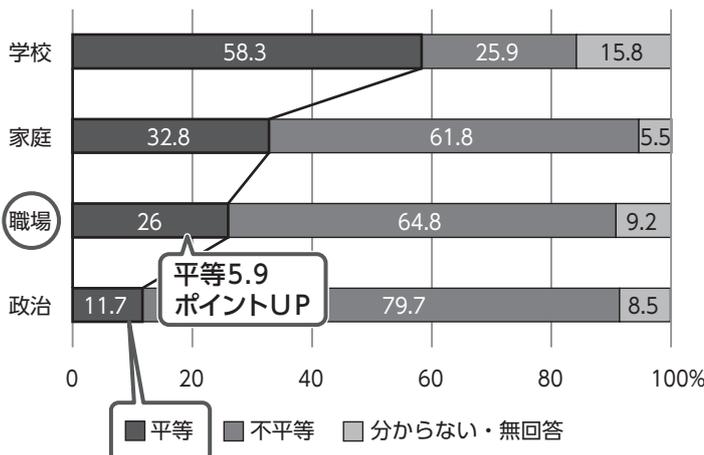
意識の変化が見られて嬉しいけど、あまり変化は感じられないような…。実感できるのはもう少し先なのかしら。

### 「男は仕事、女は家庭」



**否定派が72.4%**  
市民の7割以上の方が男女共同参画の意識を持っています。

### 「どんな分野で平等・不平等？」



#### ☆各分野での男女の地位

「各分野で男女の地位はどうなっていると思うか」の問いに、ほとんどの分野で平等・不平等の割合が前回と横ばいとなる結果でしたが、**職場を平等とする割合は26.0%と前回（20.1%）よりも5.9ポイントの改善**が見られました。ただ、全体としては不平等の割合が高く、中でも政治の分野では約80%の人が不平等と回答しており、早期の改善が望まれます。

今回の詳しいデータは市公式HPで閲覧できます!

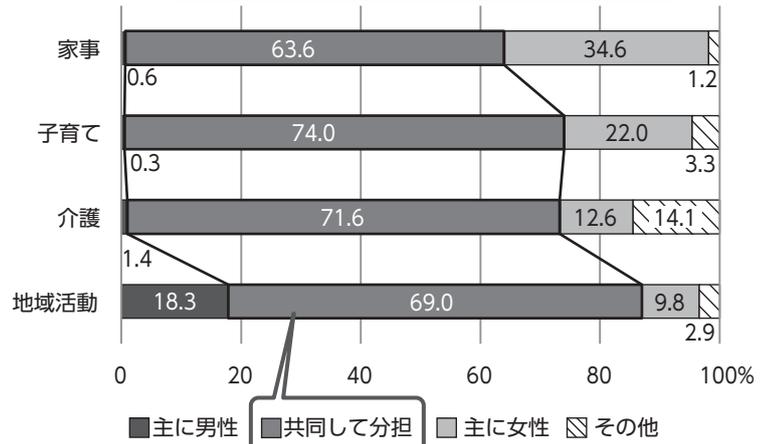


「おうちのこと、誰がやるべき？」

☆「家庭内」の役割分担

「あなたの家庭では次のことがらを主に誰が行うことが望ましいか」の問いに、「**共同して分担**」との回答が目立ちました。前回調査時は「誰が行うのが望ましいか」ではなく、「誰が行っているか」という設問だったため、直接比較することはできないものの、多くの人に、分担して行いたいという意思があることがわかります。右のグラフはすべての年代の合計ですが、例えば子育てをメインに行う**20代～50代の回答を**

**抜き出してみても子育てを「共同して分担」とする回答が75%以上**となるなど、子育て＝女性という役割分担意識が薄れてきていることが把握できます。尚、同じく子育てについて、男女別でも男女ともに70%以上が「共同して分担」を希望しており、年代別では50代で77.9%、若い世代程数値が高くなる傾向が見られ、18歳～20代で84.8%という結果になりました。

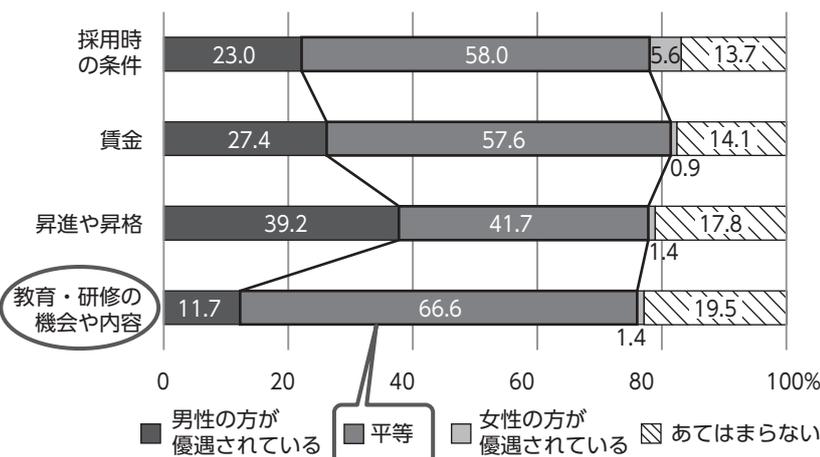


☆「職場」での男女平等

「あなたの職場では、次のことらについて男女平等になっているか」の問いに、ほぼすべての項目で平等のポイントがわずかにあがりました。そのなかでも、「教育・研修の機会や内容」が前回の60.8%より5.8ポイント上昇し、66.6%となりました。

右ページでも、「職場」における男女の平等の改善が見られており、教育や研修を男女が平等に受けられることで、その他の項目についても改善していくことが期待されます。

「あなたの職場では男女平等？」

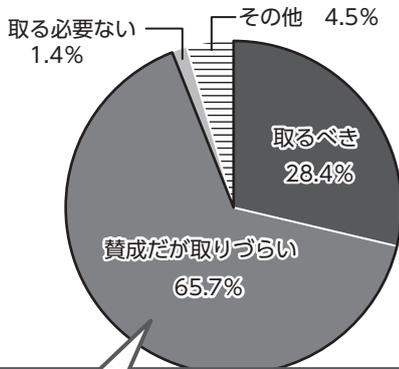


職場での「**教育・研修の機会や内容**」の平等が**5.8ポイントUP!**

## テーマ2 依然として横ばい…

改善が見られた一方で変わらない部分も。「相変わらず」で済ませず、だれもが住みやすいまちにしていくため、もっと取り組んでいく必要があるのではないのでしょうか。

### 「男性が育休等を取得することについて」



取得賛成派が94.1% だけど…



男性も育児休業を取りやすくするにはどうしたらいいんだろう。

### ☆男性の育児・介護休業、子の看護休暇取得に賛成も、現実的には取りづらいと思う割合

「男性が、この制度を活用することについてどう思うか」の問いに、「取るべき」「賛成だが取りづらい」とする賛成派が前回(90.0%)より4.1ポイントアップし、94.1%を占めました。

しかし、「取りづらい」と回答した割合は前回(65.0%)とほとんど同じ65.7%となり、状況が改善していないことが分かります。

### ☆男性が育休等を取りづらい理由 ※( )内は前回順位

- 1位 職場に取りやすい雰囲気がない(1位)
- 2位 男性が取ることに社会全体の認識が無い(3位)
- 3位 仕事上周囲に迷惑が掛かる(2位)

女性の社会参画が進まない原因も変わらないのね。



### 女性の社会参画

☆政策・方針を決定する場に占める割合が低い理由 ➡ 1位 家事や子育て・介護の負担が大きい

☆女性がそうした場へ進出するために必要なこと ➡ 1位 家事や子育てなど家庭内の責任を男女がバランスよく分かち合う

「政策・方針を決定する場に占める割合が低い理由」、「女性がそうした場へ進出するために必要なこと」は何かの問いに一番多くの票が集まったのは前回調査と同じ内容でした。

男性の育児休業等取得率アップ・女性の社会参画推進のために

もっとイクボスが必要?!

イクボスとは「部下と自らのワークライフバランスを考え、育児や介護をしている部下が仕事と生活の両立できる職場をマネジメントする上司」をいいます。

イクボスがいると、「個々の力」「組織の力」が高まり、「組織のリスク」が軽減すると言われています。市内にも既にイクボス宣言を行った企業があります。時間や場所に制約がある社員も活躍でき、仕事と私生活の両立が可能な職場にする。そのために働き方・意識・組織等の改革を推進していくイクボスで、やはりもっと求められているのではないのでしょうか。

### イクボス三カ条

- 一、部下の環境や事情を理解・配慮し、部下の人生を応援する。
- 一、会議・書類を削減、やらないことを決める、迅速な意思決定などで時間を捻出する。
- 一、職責を果たす意識と私生活充実の大切さの両方を全体に浸透させる。

一緒にやりましょう!



# テーマ3 深刻な事実

**DVは犯罪です!!**

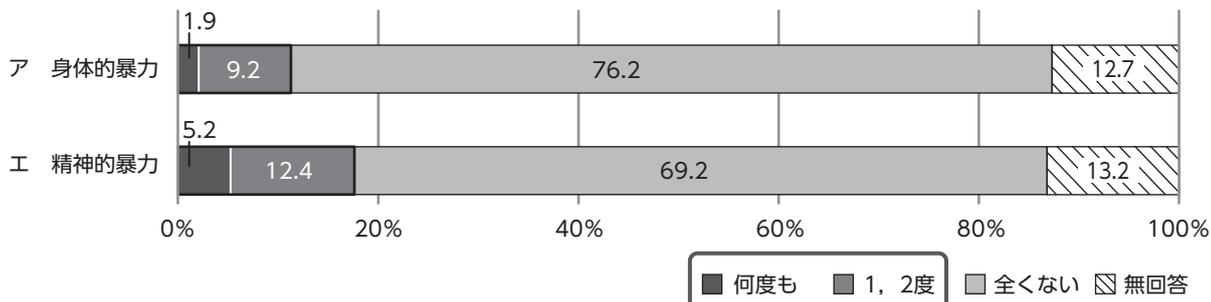
約9人にひとりが身体への暴力を受けた経験がある結果に・・・

## 配偶者暴力

### ☆被害経験の有無

「配偶者等から右記のような行為をされたことがあるか」の問いに「何度もあった」「1、2度あった」と回答した人が、アの「身体に対する暴力」では合わせて11.1%、エの「精神的な暴力」では合わせて17.6%いました。

- ア 身体に対する暴力
- イ 危害を加えられるのでは、という恐怖を感じた
- ウ 性的な行為の強要
- エ 人格を否定するような暴言や交友関係の監視
- オ 生活費を渡さないなど経済的に弱い立場に立たされた



ア・エだけでなく、全ての項目で7%以上の被害経験がある結果となりました。



相談しなかった人の割合 **63.6%**

**とっても大事!**

**【DVと夫婦喧嘩は違います!】**

DVと夫婦喧嘩の大きな違いはお互いの関係性にあります。強者が弱者を押しえつけコントロールする支配関係にある場合、相手に恐怖を感じている場合、ふたりは対等な立場にはなく、そうした中で起きる暴力はDV（ドメスティック・バイオレンス＝家庭内暴力）となりえます。

「誰かに打ち明けたり、相談したりしたか」の問いに63.6%が相談していませんでした。その理由として、「相談するほどのことではないと思った」「相談しても無駄だと思った」「自分が我慢すればいいと思った」「自分に悪いところがあると思った」と、暴力を容認していたり、自分に我慢や責任を負わせるものが目立ちました。

よその人にしてはいけないことは、  
家族にもダメ!

何か自分に落ち度があったとしても、  
暴力を受けていい理由は無いはずだよ!



## 相談先

「誰(どこ)に相談したらよいか分からなかった」との回答もありました。入間市では、下記の窓口で相談を受け付けています。どんな小さなことでもいいので、一度ご連絡ください。国や県でも相談を行っています。

**相談は秘密厳守で行います。安心してご利用ください。**

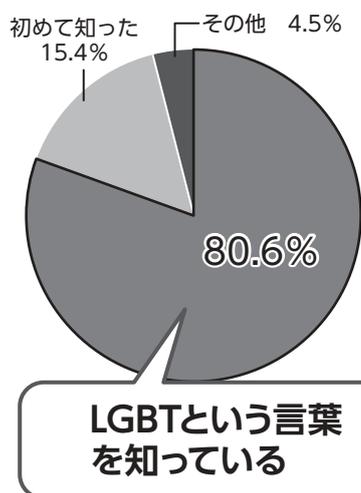
- ◆入間市男女共同参画推進センター 04-2964-2545
- ◇入間市役所市民相談室 04-2964-1111 (代表)
- ◆埼玉県男女共同参画推進センターWith You さいたま 048-600-3800
- ◇よりそいホットライン(フリーダイヤル)※24時間対応 0120-279-338

# テーマ4 お互いを尊重できる社会に

生き方を性別で分けるのではなく、個人個人ができること、やりたいことができ、お互いを認め合える社会に向かって…。

## 性的マイノリティ

### 「LGBTって言葉を知ってる？」



### ☆LGBTという言葉の認知度

「性的マイノリティやLGBTという言葉を知っているか」との問いに、80.6%が知っていると回答しており、これは前回調査の60.1%を大きく上回る結果となっています。ここで改めてLGBTという言葉の意味をご紹介します。

『性のあり方』はとても多様です。「LGBT」という言葉は  
**L**:レズビアン(女性を好きになる女性同性愛者)  
**G**:ゲイ(男性を好きになる男性同性愛者)  
**B**:バイセクシュアル(女性も男性も両方好きになる両性愛者)  
**T**:トランスジェンダー(生まれたときの性別と自認する性別が一致しない人)  
の頭文字を並べた性的少数者の総称のひとつとして使われます。これらの人は人口に占める割合が少ないことから性的少数者(性的マイノリティ)といわれます。  
自分の性別をどう認識するか、どの性別の人を好きになるかということは自分で選択・変更できるものではありません。

### ☆LGBTの方の人権を守るために何が必要？(複数回答可)

- 1位 正しい理解のための教育・啓発活動の推進(559票)
- 2位 相談・支援体制の充実(403票)
- 3位 パートナーシップ制度等の法整備(381票)

市では啓発講座や講演会等様々な啓発活動を行っています。何が必要かの問いへの法整備とする回答は前回調査(30.8%)から12.4ポイントアップしており、皆さんの理解が進んでいることがうかがえる結果となりました。

今回の調査で「自分の性別に悩んだことがあるか」に1.8%の人が「はい」と回答してるよ。



LGBTの割合は、一説には左利きと同数とも。打ち明けていないだけで、身近な存在なんだね。



## 今後に向けて

「男女共同参画社会の実現のため、今後市はどのようなことに力を入れていくべきか」の問いに、「男女共同参画の視点に立った社会制度・慣行の見直し、意識の改革」「男女の職業生活と家庭・地域生活の両立の支援」との声が多く上がりました。今注目されているSDGs(Sustainable Development Goals=持続可能な開発目標)でも、5つ目に「ジェンダー平等を実現しよう」という目標があります。性別にとらわれず、お互いを尊重し支え合えたなら、住みやすく明るいまちになるのではないのでしょうか。市では、意識改革のための講演会の実施や、関係機関や企業と連携した、働く女性・働きたい女性が活躍することのできる環境づくりの応援をしていきます。

## 新型コロナウイルス感染症と男女共同参画

現在も新型コロナウイルスが流行しており、わたしたちの日々の生活にも様々な変化がありました。コロナ時代の今だからこそ見えてきた働く場での男女共同参画の重要性について、市男女共同参画審議会副会長であり、社会保険労務士の小林由利さんにご寄稿いただきました。

コロナ流行中の今、多くのシワ寄せが女性に集中

新型コロナウイルスの感染拡大をきっかけに、雇用環境や家庭生活において女性を取り巻く状況が厳しさを増しています。総務省の調査によると、4月の女性雇用者数は3月から約74万人減少し、減少数は男性の2倍以上となっています。政府系研究機関の調査では、子育て中の女性会社員の休業率が男性に比べ7倍以上上るという結果が出ています。これらは、女性に非正規雇用者が多いことや、コロナの影響が直撃する飲食店や小売店などで働く比率が高いこと、休校等に伴い子育て負担が女性に集中していることなどが影響していると考えられます。

社会保険労務士として相談を受ける中でも、女性にとつての逆風を実感する事例が多くあります。子供の休校により会社を休まざるを得なくなった女性従業員に対し、ある企業は「まるまる1か月も休まれて困るんだよ」と渋い顔を見せました（配偶者も分担して休んでくれればいいのになあ）。会社の指示で休業した場合に支払う休業手当も、正社員には払うが非正規社員には払わないという企業もあり、収入が絶たれた女性も少なくありません（助成金を活用

して全員に払って欲しいなあ）。また、多くの企業がテレワークを実施する中、家事や育児の負担が進んだかと思いきや、「自分は子どもの世話と仕事のやりくりに追われているのに、夫は部屋にこもったまま出てこない」など、いつも以上に負担の偏りを実感したという声もありました。令和の時代になってもまだ、日本の子育てや家事の負担は女性の方に重くのしかかっています。

無理な理由を探すより、やってみることが大事

日本商工会議所の調査によると、中小企業の約7割が「男性社員の育児休業取得の義務化」に反対しており、男性の育児参加への理解が進んでいないことがわかります。ある企業では、小さな子供や介護者がいると仮定して1か月間働いてみる、というユニークな研修を実施しています。研修中は、定時での帰宅や子供の発熱連絡が突発的に来たと仮定して即時退社を上司から指示されるなど、時間に制約のある勤務を体験します。

「こんなのできるわけない」と大反対した管理職が、職場での協力意識が進み、残業が減ったにも関わらず業績が落ちなかった効果を目の当たりにして、今では推進派に変わっているといいます。でき

ない理由をあげればきりがありませんが、まずはやってみるということが重要です。テレワークを例にとつても、ハードルの高さからかコロナ前に導入している企業はわずかでしたが、必要に迫られてやってみたら何とかが出来る、という事例も多いのではないのでしょうか。

意識と実態の一致をめざして

今号掲載の市民意識調査によると、「男は仕事、女は家庭」についてどう思うかの問いに、「そう思わない」「どちらかと言えばそう思わない」とする否定派が72.4%と、前回調査より増加したのは嬉しい結果です。働く側は、テレワークや時差出勤などコロナによって変化した働き方を上手く活用し、また企業側は、男性が家庭を大事にする働き方を選べるような環境整備を進め、実態も「男は仕事、女は家庭」から変わっていくことを願っています。

お話を伺ったのは…



小林社会保険労務士事務所  
小林由利さん

## STOPコロナ差別

「感染対策をしても感染し、心無い差別を受けた」「医療従事者が子どもを保育園に預けることができない」などコロナ差別に関する報道を耳にすることが増えています。恐るべきは人ではなくコロナウイルスです。思いやりと、冷静な対応をお願いします。

新型コロナウイルス感染症は誰もが感染しうる可能性があり、誰もが気づかないうちに感染させてしまう可能性のある感染症です。感染した人、濃厚接触者、医療従事者、社会生活に必要なサービスを提供する業務に携わっている方々やその家族などに対する不当な差別、偏見、誹謗中傷があってははいけません。



©公益財団法人  
人権教育啓発推進センター



# 市からのお知らせ

「令和2年度男女共同参画セミナー公開講演会」を開催しました



林家 木久蔵氏

令和2年12月5日、産業文化センターホールにて落語家の林家木久蔵氏による講演会を、新型コロナウイルス感染症防止対策を行いながら開催し、多くの市民の方が参加されました。『木久蔵流、がんばらない子育て』をテーマに、父である林家木久蔵氏とのエピソードや子どもを「その気にさせる」秘訣など、ご自身の子育て論をお話しいただきました。「がんばらない」は、「緩く」という意味ではなく、子育ては「ひとり」で「夫婦」だけでしているとは大変。もつと力を抜いて周りを頼って、「がんばらない子育て」を語られました。なぞかけや落語もご披露いただき、とても楽しい講演会となりました。



男女共同参画推進センター

### 女性のための相談事業の紹介

悩みごと電話相談	毎週水曜日
午前10時～正午・午後1時～3時	※相談時間1人30分
<b>TEL: 04-2964-2545</b> (相談員直通)	
悩みごと面接相談 (予約制)	毎週月・金曜日
午前10時～正午・午後1時～3時	※相談時間1人60分
<b>TEL: 04-2964-2561</b> (専用)	
法律相談 (予約制)	毎月第3水曜日
午後1時15分～4時45分	※相談時間1人30分
<b>TEL: 04-2964-2561</b> (専用)	

オンラインでの相談も行っています!

お聞かせください

## あなたの声

この「女と男の情報紙」は、男女が共に輝き、いきいきと暮らしていくために参考となる情報をお伝えします。楽しい紙面作りには皆さんのご意見やご感想が必要です。

ぜひご意見をお聞かせください。

## 「5つの場面」に気をつけよう

- 1 飲酒を伴う懇親会
- 2 大人数や長時間の飲食
- 3 マスクなしでの会話
- 4 狭い空間での共同生活
- 5 居場所の切り替わり

換気を良くして三密を避けよう!

いつでもマスク手洗い・消毒忘れずに!

Art by Dixma © Crypton Future Media, INC. www.piapro.net

企画・編集 **女と男の情報紙編集会議**

発行	発行日
入間市市民生活部人権推進課 [男女共同参画推進センター] 〒358-0003 入間市豊岡4-2-2 TEL 04-2964-2536 FAX 04-2964-2539 メールアドレス ir212000@city.iruma.lg.jp ホームページアドレス <a href="http://www.city.iruma.saitama.jp/shisetsu/shisetsu_kyoiku/1012387/index.html">http://www.city.iruma.saitama.jp/shisetsu/shisetsu_kyoiku/1012387/index.html</a>	令和3年3月
	イラスト
	原田寛子

※入間市女と男の情報紙「Beginはじめよう!」は第4次いるま男女共同参画プランに基づいて発行されています。

わたしたちが編集協力員です

諸井	宮崎	原田
和江	房枝	寛子

編集協力員としてご協力いただける方、お待ちしております。